

# 百年目の 寿

歩み続けて一世紀

数え年で今年“100歳”を迎えられる12人の皆さんに、町から賀詞と御祝金が贈られました。これからも素敵なお顔を、明るく元気にお過ごしください。



竹田 ちよさん (荒砥甲)  
大正9年3月8日生まれ



安部ふまんさん (十王)  
大正9年12月21日生まれ



江口 ふじさん (荒砥甲)  
大正9年11月18日生まれ



海老名やすさん (滝野)  
大正9年7月2日生まれ



金田 徳次さん (高玉)  
大正9年1月3日生まれ



澁谷 みつさん (荒砥甲)  
大正9年3月10日生まれ



大木 志うさん (畔藤)  
大正9年12月22日生まれ



大木 しもさん (畔藤)  
大正9年5月24日生まれ



小角 忠夫さん (荒砥乙)  
大正9年7月20日生まれ



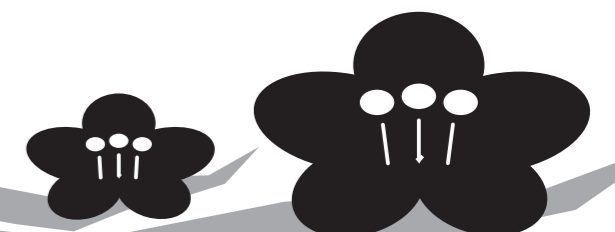
齋藤 喜久さん (十王)  
大正9年11月20日生まれ

赤間 勇吉さん (鮎貝)  
大正9年2月22日生まれ

※お名前のみ掲載

小林 よしさん (横田尻)  
大正9年4月28日生まれ

※お名前のみ掲載



## 第6次白鷹町総合計画 まちづくり町民会議 ふりかえりルポ vol.3

第5回 日時：1月23日(水)午後7時～9時  
場所：中央公民館 3階 大会議室

今年度、町では今後のまちづくりの基本的な方向性を示す新たな総合計画の策定に向け、地域力創造アドバイザー(総務省制度)の前神有里さんを招き、広く町民の皆さんの意見を伺うための「まちづくり町民会議」を開催しています。

今年度最後となる第5回会議では、これまでの会議で意見が出された、「まち」「ひと」「しごと」の3つのテーマに分けた「大事なこと」を達成するための具体的なアイデアについて、意見を出し合いました。

「多様な人が住みやすいまちづくり(多文化共生・外部人材の活用)」「子育て環境のさらなる充実(高校生への支援)」「公共交通の新たな展開(広域利用・利便性向上)」など、さまざまな分野の具体的な意見が出されました。

### ふりかえりインタビュー (参加者の声)

「人口減少が進む世の中ではあるが、その中で自分たちのできることから始める」という考えをお聞きし、人口を増やすことも大切ですが、少ない人口の中でできることを考え、そこで生まれる幸せを見つけ出すことも大切だと気づきました。「白鷹が好きだからこうしたい」「自分ならこんな町に住みたい」という思いが共通しているからこそ多くの意見が出てくると思います。今後、それらの思いが一つでも多く反映されるまちづくりに、私自身も携わってまいります。

今回のワークショップでは、町外・地域住民・行政・企業等が一体となった「多文化共生」の模索が必要であることと、町外高校へ通う学生への支援が不足していると感じました。また、私はスポーツの立場から参加していますが、いかに地域に根差したスポーツにしていけるかをより一層考える機会になっています。会議で出た意見は町民が求めている素直な声です。これから先のまちづくりの根幹と捉え、幅広い視点から具現化されていくことを期待しています。

会議には、各分野で活躍されているさまざまな年代の町民の皆さん15人に加え、町職員18人が参加しています。

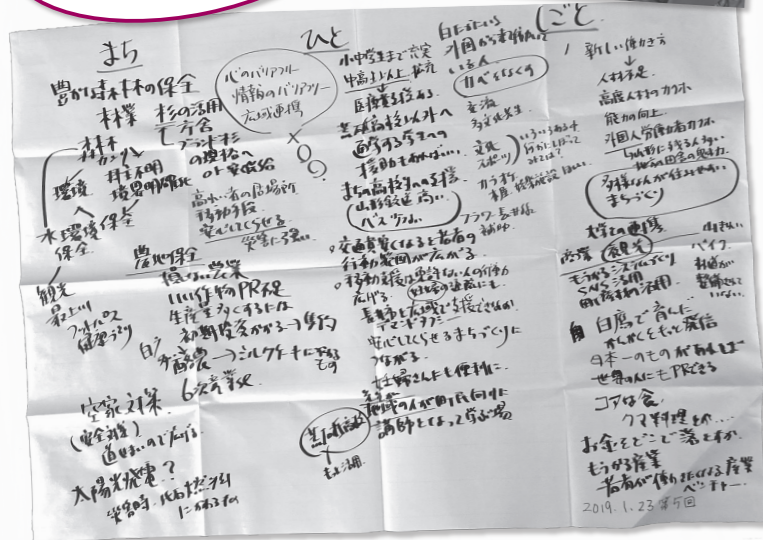
委員(町民)  
守谷俊一郎さん



人材不足。都市から即戦力を取り込んだり、人材育成する企業を支援しては？

高齢者の居場所や移動手段の確保が安心な暮らしにつながるはず！

子育て支援は小中学生まで充実。町の高校生の支援も拡充すると良いと思う！



町職員  
大崎さおとさん